

Yuki Ito
Cello Recital
ロンドンを拠点に、世界に羽ばたく若獅子

伊藤 悠貴

チェロ・リサイタル

Piano

ダニエル・キング=スミス
Daniel King-Smith, Piano

2015年

金

1月16日

19:00 開演

[18:30 開場]

- ✧ シューマン：幻想小曲集 作品73
Schumann:Fantasiestücke, Op.73
- ✧ ハーツェル：エッシーの踊り 作品23
Hartzell:Essie's Gigue, Op.23(伊藤悠貴に献呈)
- ✧ マーラー：私はこの世に捨てられて 『リュッケルト歌曲集』より
Mahler: Ich bin der Welt abhanden gekommen from "Rückert-Lieder"
朝の野を歩けば 『さすらう若人の歌』より
Ging heut' morgens übers Feld
from "Lieder eines fahrenden Gesellen"

- ✧ ブリッジ：スケルツォ
Bridge: Scherzo
- ✧ ブラームス：チェロ・ソナタ第1番 ホ短調 作品38
Brahms:Cello Sonata No.1 in E Minor, Op.38
- ✧ ラフマニノフ：チェロ・ソナタト短調 作品19
Rachmaninov:Cello Sonata in G Minor, Op.19

東京文化会館
小ホール

全自由席 / 4,000 円(前売)

当日券 / 4,500 円 ※ 小学1年生からご入場いただけます

Photo : Paul Duxfield

チケットの
お取り扱い

ソナーレ・アートオフィス ☎ 03-5754-3102
東京文化会館チケットサービス ☎ 03-5685-0650

主催・
お問い合わせ

ソナーレ・アートオフィス

伊藤悠貴は類まれな才能に恵まれ、技術的にも音楽的にも成熟したアーティストです。内面から湧きあがる抒情と情熱に裏付けられた深い音色、歌う音、そして高い知性を兼ね備えた、極めてまれな若きチェリストです。

チェリスト ダヴィッド・ゲリンガス

伊藤 悠貴

公式HP | www.yukiitocello.com



Photo : Charlotte Fielding

1989年東京生まれ、15歳よりロンドン在住。2006年ヤングロ国際チェロコンクール第1位、08年日本音楽コンクール第2位・聴衆賞、09年パリFLAME音楽コンクール第1位受賞後、21歳でブラームス国際コンクール、および英国の最高峰ウィンザー祝祭国際弦楽コンクールで優勝、名門フィルハーモニア管弦楽団の英女王居城定期でドヴォルザーク・チェロ協奏曲を共演しデビュー。ロンドンのロイヤル・フェスティバル・ホール、ロイヤル・アルバート・ホール(エルガー・ルーム)ソロ・リサイタル、セント・マーティン・イン・ザ・フィールズでの協奏曲弾き振り、世界的チェロ奏者ジュリアン・ロイド・ウェバー氏をソリストに迎えての指揮は絶賛を博す。12年英王室エドワード王子私邸でのプライベートリサイタルでは王子より直々に多大な賞賛を賜った。同年YCA欧州オーディション第1位を受賞。また2008年のクアアチア全国リサイタルツアー以来、英ウィンザー祭、YCA東京室内楽フェスティバルや、パリ、ローマ、ザルツブルク、ライプツィヒ、アイントホーフェンほか欧州主要都市、韓国・テジョンの著名なホール・劇場・宮殿でのリサイタルに招聘されている。14年CHANEL Pygmalion Daysアーティスト。今シーズンの大阪ザ・フェニックスホール、名古屋宗次ホール、青森文化会館でのソロ・リサイタル、NHK-FM『リサイタル・ノヴァ』出演では大好評を得た。Tokyo Dome City Hallにて開催される『ドリームプラン・プレゼンテーション2014世界大会』オープニングへのゲスト出演も決まっている。

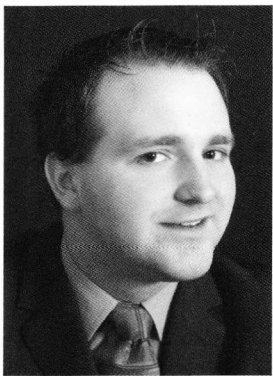
12年10月にデビューアルバム『ラフマニノフ・チェロ全曲集』(共演:ソフィア・グルヤク/Champs Hill Records/(株)東京エムプラス)をリリース、英国の世界的音楽誌「ストラッド」(2013年1月号)で特薦盤に選ばれ、「センセーショナルなラフマニノフ全曲集。急速に国際舞台の頂点における地位を確立することは間違いないだろう」と評された。また米国「アメリカン・レコード・ガイド」誌は「著しく成熟し味わいのある演奏」、ドイツ「アンサンブル」誌も「天性の強靱なロマンチズムと素晴らしく歌う音色」と評し、各地で高い評価を受けている。

最近では英国人現代作曲家より献呈された作品の初演も行い、14年6月には巨匠一柳慧氏の新曲を初演。指揮者としても、自ら結成したIn Tune Orchestra (ITO)とロンドンで精力的に活動、東京ではオペラシティ『タケミツメモリアル』にてベートーヴェン交響曲第7番の指揮およびサン＝サーンス・チェロ協奏曲の弾き振りでデビュー(コラボ:假屋崎省吾氏)。14年フランスにて、パリFLAME音楽コンクールの審査員も務めた。

メディア面では、英・BBCラジオ3、フランス・ラジオクラシック、オランダ・ラジオ4、オーストリア・KT-1、NHK-FMほかに出演。英放送界の人気キャラクター、アン・ダイヤモンド氏と共演したBBCラジオトーク番組の収録で好評を博し、ダイヤモンド氏より「現代ではクラシック音楽家といえども、ハリウッド流のカリスマを備えた、投資対象としてのスター性が必要とされる。今日出会った青年は、真にそれにぴったりだ」と絶賛された。

倉田澄子、アレクサンダー・ボヤルスキー各氏に師事。小澤国際室内楽アカデミー奨励賞に参加。09年英王立音大最優秀弦楽器奏者賞受賞、現在同大学アーティスト・ディプロマに在籍。07年度文化庁派遣研修員。10-12年度ローム財団奨励学生。12年7月に出版された日外アソシエーツ刊行の人名事典『日本の演奏家』、プロイス弦楽器マイスター工房出版『2012年弦楽器奏者カレンダー・Amazing Talents from Japan』でも紹介されている。

ダニエル・キング=スミス



英国王立音楽院で学び、在学中にクラックストーン賞、ピラニ賞受賞。ピアース・レイン、ルース・ナイ、ヴェネッサ・ラターチェ各氏に師事。ソリスト、室内楽奏者、また伴奏者として英国とヨーロッパ各地で活躍。チャールズ皇太子御前演奏やウィグモア・ホールでのコンサート、またアーディングリー大学の夏期フェスティバルにも公式伴奏者として招かれている。1996年には、ハーヴァヒル・シンフォニア・ソリスト・コンクールで優勝、その後同じコンクールで最優秀伴奏者賞を受賞。2003年9月、フィルハーモニア管弦楽団にオーケストラ・ピアニストとして招かれた。伊藤悠貴をはじめ、マイケル・コリンズ(Cl)、カーメル・ケイン(Vn)、スーザン・ミラン(FI)、ロバート・マックス(Vc)、ステファノー・カヌーティ(Fg)、橋本杏奈(Cl)など多くのアーティストと各国で共演している。BBC Radio3、BBC Radio アルスターに出演、また「BBCヤング・ミュージシャン・オブジヤー 1996」ファイナルにソリストとしてTV出演、以来同コンクールの伴奏ピアニストを務めている。王立音楽院ジュニア部門とパーセル音楽学校の公式伴奏者、王立音楽院管楽器クラス、マスタークラス、学年末リサイタルでも伴奏ピアニストを務めている。



伊藤 悠貴 チェロ・リサイタル チケットのお申し込み

(有)ソナレ・アートオフィス

Fax 03-5754-3103

E-mail info@sonare-art-office.co.jp

下記で記入の上、この面をFAX送信してください。お申込みを受け付け次第、チケット代金振込先をご連絡いたします。お客様からのご入金確認後、チケットを郵送いたします。(振込手数料はお客様のご負担となります) ※お客様の個人情報は、当社からお客様へのご連絡、公演のご案内以外の目的には使用いたしません。

お名前(漢字)		ふりがな	
ご住所	〒		
電話番号		Fax	
E-mail		お申し込み枚数	全自由席 ¥4,000 × 枚